

発行日	令和6年9月30日
発行元	災害対策課
所属長	清水 計秀
電話	06-6489-6165



防災対策情報便

令和6年9月号

01 防災の日

9月は防災月間です

9月1日は、今から約100年前（1923年）に関東大震災が発生した日です。

この地震により、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県で震度6（当時の震度階級における最大の震度）、北海道から中国・四国地方にかけての広い範囲で震度5から震度1を観測しました。

津波、土砂災害のほかにも、発生が昼食の時間と重なったため、多くの火災が起きて被害が拡大し、死者・行方不明者は約10万5千人にのぼりました。

この日は、過去の災害を忘れず、災害への備えを進める機会として「防災の日」と定められており、台風も多い時期であることから、9月は「防災月間」としています。



各家庭や職場での備えをもう一度確認しましょう。



博士の防災豆知識

体感で震度を観測していた！

今は震度を機械で測っていますが、100年前は人が体で感じた揺れや室内の様子（家具や吊り下げた電灯の揺れなど）で震度を決めていました！



引用：内閣府HP・気象庁HP

02 停電に備えて

尼崎市では、関西電力送配電株式会社と連携し、災害時における停電対策や停電状況の確認方法についてまとめた動画を制作し、市の公式YouTubeチャンネルで公開しています。

また、スマートフォンでも、停電情報アプリを使うと復旧作業の進捗状況や見込み時間について確認することができますので、是非ご利用ください。

停電情報アプリは、関西電力送配電ホームページからダウンロードできます。



災害時の停電対策や
停電状況の確認方法
について(YouTube) ▶



関西電力送配電株式
会社ホームページ▶



03 家庭や職場での防災対策

いざという時でも自分や家族を守り、心のゆとりを持つことができるよう、必要な備えを進めましょう。

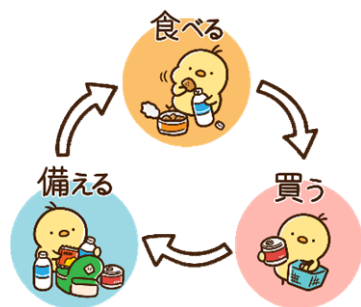
なぜ備蓄が必要？

水・電気・ガスなどのライフラインの復旧や支援物資の到着までには3日～1週間かかると言われています。その間は自分の力で耐えなくてはならない可能性があるため、備蓄品の用意が不可欠です。

災害に備えるためには、備蓄を非日常のものと考えてではなく、日常の一部として普段から無理なく楽しみながら取り入れていくことが大切です。

尼崎市では、「家庭での備えチェックシート」を作っています。自分に必要なものを追加して、備えに役立ててください。

また、普段食べているものを消費しながら一定量ストックするローリングストックもおすすです。無理なく、無駄なく家庭備蓄を行うことができます。



職場での備えも大事！

[illegible]

チェックシートはこちら▶



04 南海トラフ地震臨時情報って？

令和6年8月8日(木)に、初めて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されました。「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったとされた場合に気象庁が発表します。発表された際には、政府や地方公共団体などの呼びかけ等に応じた防災対応を取りましょう。

また、令和6年8月15日(木)に、政府による「特別な注意の呼びかけ」は終了いたしました。大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではありませんので、日頃から地震に対して対策をしておきましょう。

災害発生時にデジタル機器以外でも周知を行います

本市では、災害時等における市民への情報発信について、防災行政無線や市ホームページ、SNSなどにより情報発信を行います。

また、デジタル機器の使用ができない場合も想定されるため、公共施設や協力事業者での情報掲示や広報車等による情報発信も行います。



地域への情報揭示に係る協力事業者

・市内郵便局 ・尼崎信用金庫 ・尼崎市薬剤師会 ・生活協同組合コープこうべ

05 尼崎市防災総合訓練を実施しました！

南海トラフ地震の発生する可能性が高まる中で、市民の皆様の生命・財産を守るために、防災業務に日頃から取り組んで行く必要があります。

防災総合訓練では、関係機関との連携を深めると共に、災害時の情報発信、伝達、情報収集を迅速に行えるよう、災害マネジメントシステムや防災情報伝達システムなどの各種システムを連携活用した訓練などを、令和6年8月23日（金）に尼崎の森中央緑地公園大芝生広場及び市内各訓練場所にて実施しました。

訓練の様子は、サンケイスポーツYouTubeチャンネルで取り上げていただきましたので、是非ご覧ください。



訓練テーマ

「心・技・体」を実動訓練において鍛える！

「迅速」かつ「的確」な災害対応を目指して

サンケイスポーツYouTubeチャンネル▶

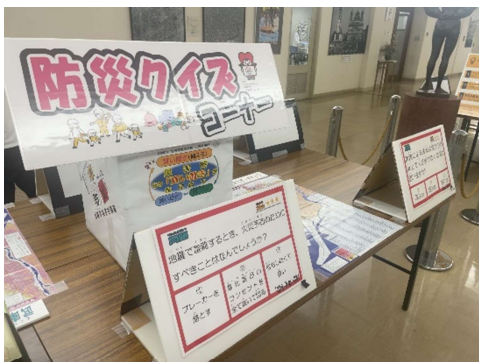


防災クイズの展示も実施！

学校の夏休み期間中（令和6年7月23日（火）～令和6年8月28日（水）まで）に本庁舎で防災クイズの展示を実施しました！

防災クイズは、幅広い世代に防災に対する知識を学んでいただくきっかけ作りとして災害対策課で作成しました。

尼崎市防災総合訓練でも展示したほか、今後の『「1. 17は忘れない」地域防災訓練』の会場などにも展示予定です！



防災クイズにチャレンジ！

Q. 津波による浸水は何cmで動けなくなるでしょうか？

- ①30cm ②60cm ③90cm

津波の浸水深が30cmでも、人は流されてしまいます。さらに、1mの津波に巻き込まれると死亡率はほぼ100%といわれています。

①



06 新型コロナウイルス感染症「記録と検証」プロジェクト報告書

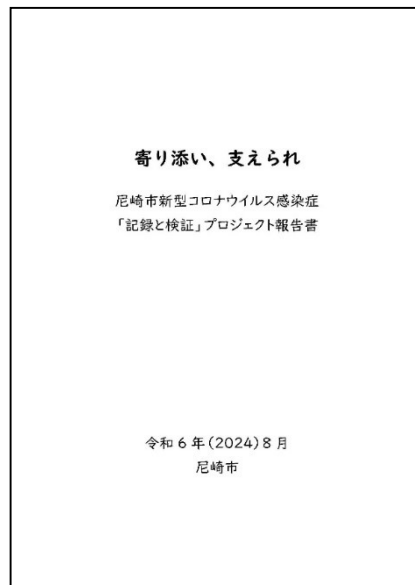
尼崎市では、未曾有の事態となった市の感染症対策を記録し保存すべく、『新型コロナウイルス感染症「記録と検証」プロジェクト』を令和4年7月に立ち上げ、その報告書である『寄り添い、支えられ』を公表しました。

このプロジェクトは、公文書等の収集を行うとともに、各行政分野の感染症対策や感染症の影響を受けた市民・事業者に対する各種支援、これらを支えた行財政運営と組織体制等について振り返り、評価を行い、今後の市政に活かしていくことを目的としています。

そして、この報告書は、本市の歴史的記録を担う歴史博物館が、収集資料や最前線であたった職員等の振り返りの聞き取り内容から論点を抽出し、市の感染症対応の記録として整理・編集し、作成したものです。



『寄り添い、支えられ』はこちら▶



尼崎市における新型コロナウイルス感染症の時系列

令和元年度

世界的な感染が始まる。尼崎市は庁内体制を構築して感染症対応を開始した。市内においても感染が発生するなか、学校園休業等の措置を実施した。

令和2年度

二度にわたり緊急事態宣言が発出される。市は総合サポートセンターを開設し、各種支援策に加えて特別定額給付金支給を実施した。

令和3年度

急激な感染拡大により、まん延防止等重点措置と緊急事態宣言が相次いで発出される。市はワクチン接種を開始するとともに、全庁的な応援体制のもと感染症対策を継続した。

令和4年度

オミクロン株の感染拡大が続くが、重症化率は低下する。感染症対策の見直しを進めるとともに、市と市医師会が「5類相当感染症」への変更を要望。

令和5年度

国が新型コロナウイルス感染症を「5類感染症」に変更。3年4か月に及ぶ市の新型コロナウイルス感染症との闘いが一区切りを迎えた。